

(2020. 7. 1第151号)



医療法人 社団 東峰会
関西青少年サナトリウム

〒651-2403

神戸市西区岩岡町西脇 838 番地

TEL 078-967-1202 (代)

FAX 078-967-3626

HPアドレス <http://www.tohokai.jp/>

E-アドレス office@tohokai.jp

広報誌へのご意見・ご希望を上記
E-メール・FAX でお寄せ下さい。

関西青少年サナトリウム



ひろば

敷居の低い 癒しの場としての病院をめざして

精神科救急病棟オープン

令和2年4月より北1病棟の精神科救急病棟としての運用が始まりました。工事により56床から44床の病床数となり、改修前は12床であった保護室、個室が病棟の半数以上を占める24床になりました。4床室は11室から5室になりました。これらの変更で、患者さん個々に対して状態や病状に応じた最適な環境での治療を行うことができるようになりました。



医師、看護師だけではなく複数の精神保健福祉士や作業療法士で病棟の業務にあたり、精神科急性期の患者さんに対して迅速でキメの細かい治療、ケースワークに加えて、栄養士、薬剤師など多職種が参加してのリハビリテーションを行っています。稼働するうえでは、精神科救急医療体制に参加していること、4割以上が新規入院患者（3ヶ月以内に精神科への入院歴がない）であること、6割以上が3ヶ月以内に自宅退院すること、などの条件を満

たさねばなりません。超急性期の患者さんを広く受け入れ、今すぐに適切な治療を提供し、環境や必要なサービスなどの退院条件をできるだけ短い期間で調整し、関係する諸機関やご家族と連携を取ることがです。患者さんを中心とした治療、支援を行うチームを、入院してできるだけ早い時期につくりあげ、退院、そしてその後の患者さんの望む生活というゴールを目指していくことが目標です。訪問看護、相談支援、デイケア、グループホーム、就労継続支援、就労移行支援が法人内で普段から連携できる当院にとっては、力の見せ所であり、今後継続して精神科救急病棟を地域の精神科医療の中で当院が選ばれる理由になるように運営していきたいと考えています。(医師：鬼頭)



新採用者&新就任者 ご紹介



医師 伊藤 昌桂

Masakatsu Ito

はじめまして、4月よりお世話になっております伊藤昌桂と申します。精神科病院での勤務の経験はありませんので、ご迷惑をおかけしていることが多いかと思っております。スタッフの方と連携して、患者さんにとっていい医療を提供できるように努力してまいりますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

4月より勤務させて頂いております、大崎活貴と申します。不慣れな環境でご迷惑をおかけすることも多々あるかと思っておりますが、精進する所存ですのでよろしくお願い致します。職場の皆様と忌憚なく話し合いが出来ればと考えております。遠慮なくお声掛け頂ければ幸いです。



医師 大崎 活貴

Katsuki Osaki



看護部長 福永 有紀子

Yukiko Fukunaga

このたび看護部長に就任いたしました福永有紀子と申します。当院の「入院中心に考えていない」という基本方針に魅力を感じ、患者さんとじっくり関りたいと思い就職しました。しかし実際就職すると、長期入院患者さんも多く、現実には様々なケースがありました。長期化で地域生活自体をイメージできない患者さんもあり、また地域の受け皿も限られ、支援することの難しさを実感しました。それでも、できる範囲で最大限に患者さんに寄り添っている先輩の姿、そして何より患者さんの「人」としての魅力が、私をここまで導いてくれたような気がしています。

当法人も、昨年度の24時間体制グループホーム開所を皮切りに、地域リハビリテーション事業部を立ち上げ、地域事業の強化に取り組んでいます。また、今年4月より精神科救急病棟も本格稼働し、法人全体が大きな転換期にきています。当院は幸い、魅力ある職員がいます。それぞれのいい部分を活かして活躍してもらえる職場にしたいと考えています。そして私が入職時に感じた、患者さんに寄り添えるあの先輩達のような、当院の良さを残しながら、時代の変化に対応できる強さをもてるようにしたいです。そして、本当の意味で「入院中心ではない」、一人ひとりの人生に寄り添える法人を目指して尽力させていただきます。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

今年4月より作業療法室に配属となりました、横田と申します。患者さんの名前を覚えることや業務を覚えること、新型コロナ対策であったという間に2ヶ月が経ってしまいました。精神科病院では今後さらに救急・急性期医療、入院から地域への流れが激しくなってくると思います。生活のメリハリとして、楽しみとしての集団での作業療法も大切ですが、患者さん「個々」の「気持ち」や「希望」を大切に、安心した地域生活を送る為に作業療法として何が出来るかを明確にし、実行していく事を作業療法室の目標として取り組んでいきます。色々な部署や職種、立場の方の意見や協力を頂くとありますが、宜しくお願い致します。



作業療法士
課長：横田 敦史

Atsushi Yokota



スモールステップ
所長：岡 宜廣

4月1日付でスモールステップの所長に就任しました岡 宜廣と申します。3月までは病院内の作業療法室で勤務していました。就労支援の仕事は初めてでワクワクとドキドキで一杯です。スモールステップの利用者の方やスタッフとたくさん話をしながら精進して行きたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

Yoshihiro Oka

当院の患者統計

2019年度に入院された患者実数は478名、退院数は504名でした。前年度に比べて入院は9名の減少でした。一方退院は22名増加しています。北病棟1階を精神科救急に対応できるように工事をする期間、大幅な利用可能病床数の減少があったことを反映している一方で、変わらず地域への移行を支援できたことが表れています。

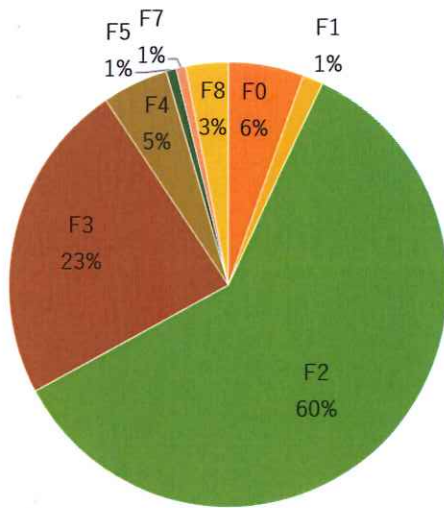
平均外来患者数は123名（前年度125名）で新規患者数は297名（前年度256名）でした。利用可能な病床の減少があった中で、新たに当院を受診された地域の患者さんに積極的に対応してきた結果であると思います。

入院中の方の在院期間は3か月以内の方が最多で18%と減少（前年度25%）しています。やはり、入院者数の減少を反映していると思われます。また、5年以上の入院となっている方が31%と前年度（30%）より増加しています、入院者数の減少によって割合の増加があるだけで、実数は減少しています。退院者数は増加していますから、退院支援に力を注いだ結果は表れていると思います。

今年度より急性期の精神疾患に対して広く対応を開始した当院にとって、地域や公的機関との連携をさらに強化し、より多くの方に今以上の質の医療を、時を選ばず提供し、選ばれる病院として、変革を行っていく必要があります。

退院された方の疾患別割合では統合失調症圏60%、気分障害圏23%、神経症圏5%と、また、在院中の方の疾患別割合は統合失調症圏77%、気分障害圏12%、神経症圏3%と、これまであまり当院ができていなかった依存症や認知症の方への対応が、徐々にではありますが形を成しつつあると考えます。（医師：鬼頭）

退院患者疾病別割合



2019年度実績（2019.4.1～2020.3.31）

入院 478名（前年度487名）

退院 504名（前年度482名）

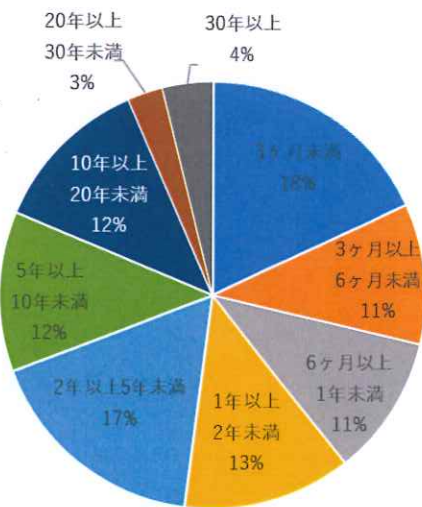
平均外来患者数 123名（前年度125名）

新規登録患者数 297名（前年度256名）

- F0 症状性を含む器質性精神障害
- F1 精神作用物質による精神及び行動の障害
- F2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
- F3 気分（感情）障害
- F4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害
- F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群
- F6 成人の人格及び行動の障害
- F7 知的障害（精神遅滞）
- F8 心理的発達の障害
- F9 小児（児童）期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害

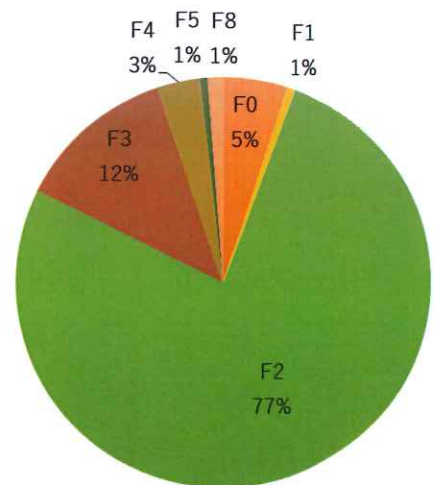
2019. 4. 1～2020. 3. 31

在院期間割合



2020. 4. 1

在院患者疾病別割合



2020. 4. 1

デイケア便り



最近のデイケアの様子についてお知らせします。

緊急事態宣言期間中、プログラムの縮小やマスク着用・食事場所の制限等、安心してデイケアを利用していただけのように、感染対策を行ってきました。現在も感染対策は続けていますが、少しずつ日常を取り戻しつつあります。

この間ミシンはフル稼働、みんなでカラフルな布マスクを作って楽しみ、芝生広場で人との距離を取りながら気持ちよく朝のラジオ体操をするなど、新しい習慣も出来ました。

マスクを付けることが習慣になったのはいいのですが、今度は外を散歩時に外すことに抵抗を感じる人もおられます。

短期間に行動の変化を求められるこの時期、ついていくのが本当に大変です。

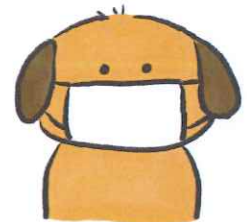
こんな時だからこそ

- いつものメンバーやスタッフと顔を合わせる事
- いつもの時間、いつもの場所に通うこと
- 少し笑顔になれる時間をもつこと
- 運動したり、しっかり御飯を食べて自分の体を気遣うこと
- 心配事を信頼できる人に相談すること

…デイケアがお手伝いできることもあると思います。ぜひ上手に利用してくださいね。 (DC:馬場)

体温 37.3℃以上
せきなど呼吸器症状
頭痛・だるさ

こんな症状の方は、デイケア利用できません。
症状がなくなってから **24** 時間経過後に
ご利用くださいね！



外来再診 担当医のご案内 (7月)

診察時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前 9:15 ~12:00	狩場	鬼頭	内藤	瀬川	佐伯	当番医
午後 13:00 ~16:50	朴 内藤 <small>※児童・思春期外来</small>	西村	岡本	瀬川 中井	頼 藤堂	/

☆金曜日の午後は2診制になります。

☆初診の方は原則としてその日の初診担当 Dr が診療にあたります。(曜日により常勤医をふりわけています)

☆月曜日午後の診察(朴医師)、水曜日午後の診察(岡本医師)、木曜日午後の診察(中井医師)は予約制です。

☆木曜日午後瀬川医師の診察は予約制(14:00~15:00)となります。※予約票が必要です。

☆※児童・思春期外来は毎週月曜日午後です。(担当:内藤医師、※完全予約制)

編集後記: 2ヶ月に1度発行させていただいております広報誌「ひろば」ですが、5月号は新型コロナウイルスの影響で休刊させていただきました。緊急事態宣言は解除されましたが、この数ヶ月で世の中の生活が一変しました。1日も早く終息することを願っております。(広報委員: I)